

議会報告会記録（平成 22 年 7 月 23 日（金） コミセン小ホール）

1 部 議会報告

問：陳情第 1 号。地方自治法では毎月監査となっているはず。なぜ、加西市では 3 ヶ月に 1 度になったのか？議会もなぜ承認しているのか？今の監査報酬は妥当かどうか？

答：地方自治法上ではその通り。現状も 3 ヶ月に 1 度となっている。この陳情は、それらについての陳情であり、先ほど報告した通り。

問：条例では、2 ヶ月に 1 度であったのに対し、議会は 3 ヶ月に 1 度を承認している。

答：内規の中で決まっている。条例では決まっていない。

問：分厚い本で確認をした。行政が勝手に変える事が出来るのか？

答：規則・内規であるから、行政は議会の承認なしで変更できる。

問：監査報酬についてはどうか？

答：ここで、個人的な答弁は出来ない。委員会で判断されることである。

問：議案第 54 号。教育委員の件。これまで 2 回とも市外の方、専門的で立派な方・教授であるということ同意されなかった。しかし、今回西脇の方が同意された。教育委員会は、行政から独立しているのではないのか？市長が気に入った人でしかなれないのか？

答：前回と同じくして、市外の方であるとか色々な意見は出たが、今回は考えを変えた議員がいて 9 対 8 という票数で決定した。

問：教育長の件。これまで教育長は教育委員の任命にあたって一生懸命頑張ってきたのに対し、議会は何度も否決するため、嫌気をさして今回辞められるのではないのか？議会は、どう考えているのか？

答：先ほど言われた事は当たっているかもしれない。しかし、各議員個人の捉え方が違う為、なぜ辞められたかどうか答えることが出来ない。

問：反対の為の反対で、教育委員を否決してきたのではないのか？

答：人事案件については、市長から提案がなされて、それを議員個人が判断をしている。個人的な答弁は出来ない。その結果を第 3 者として判断してほしい。

問：議案第 42 号。委員会で色々と検討されたそうだが、この財政難の中で 18 名の議員全員が議員報酬に見合うだけの議員活動をされているのかどうか？先ず、議員として何が大事なのかということを考えて下さい。要望。

2 部 意見聴取

①議員定数について

意見：市の財源がどうなっているのかが問題。赤字を減らす事が重要で収入はどうなっているのか。

意見：10 名でも多い。年収 640 万円は高い。代表区長 9 名を日当 3 万円を出してもらう。

意見：定数が多いほど市民の意見を聞けるから良い。予算が許せば問題ない。

意見：小野、西脇は議員が 2 名減らしている。議員が自発的に減らして欲しい。

②学校再配置計画素案について

問：先にマスコミに発表するのはどうか、議会軽視ではないか。

答：以前から本会議、委員会などで議論している。

問：小学校がなくなると地域の核がなくなる。また、地域が崩壊すると言われることについてどうか。

答：なくなる所は大問題で抵抗があるのは当然であるが、少子化が進んでおり、小中一貫を含めて考えるべき。

意見：昨年の事務局案に比べて良くなっている。反対しにくいのでは。加西市独自の小中一貫を急がずに進めて欲しい。

③市役所業務の包括委託について

問：職員は辞めさせられない。民間委託すると正職員はどうなるのか。やめさせる事を検討する必要がある。(駐車場が満杯)

答：今の計画は臨時職員の転籍である。職員は解雇できないし、解雇するべきでない。

問：先にマスコミに発表するのはどうか。

答：民間委託などは以前から議論している。

④その他

意見：政務調査費の用途について、会派は改善されているが、委員会の視察でビジネスホテルではないところに泊まっている。

答：今年から政務調査費は1Fロビーで公開する。(H21年度分)